

ホタルだより

第28号 令和6年11月15日

『富海をホタルの里にする会』

事務局 富海公民館

TEL 34-0001

平成9年7月に『富海をホタルの里にする会』が発足して、今年で28年目を迎えました。平成14年からは会員の手によって地元のホタルを繁殖させ放流する活動を始め、現在では毎年富海地区内の新川にたくさんのホタルが幻想的な光を放ちながら飛び交い、私たちの目を楽しませてくれるようになりました。

今年は5月18日(土)に「ホタルまつり」を行い多くの方々に来ていただきました。また、5月21日(火)に新川で、繁殖のためホタルの雌の成虫を52匹捕獲しました。6月末までに孵化した幼虫の数は約15,000匹を超えました。

5月18日(土)ホタルまつり

会長の挨拶



恒例の綿菓子!



ジャグリング



5年ぶりの「ホタルまつり」。今年はいろいろなお店が出て、イベントも数多く開催されました。ホタルの乱舞も観られ、足を運ばれた多くの地域住民の方が満足されたと思います。

5月21日(火)ホタルの捕獲そして産卵!



これが産卵箱

ここに産卵、卵のベッド!

これは雄!



これが卵!



ホタルは産卵後、死んでしまいますが、脈々と命は受け継がれます。卵を孵化させ、放流できるまで大きく成長させることが難しく、大変です。

幼虫を富海公民館敷地内のホタル小屋で約4か月飼育した後、富海小学校3・4年生の皆さんと共に、10月17日（木）に脇地区の新川に放流しました。この間、8月9日（金）と8月21日（水）2回「ホタルの楽校」も開催しました。このホタルたちはこれから川の中で冬を越しますが、来年4月末から5月にかけて富海の夜を彩ってくれることを願っています。

8月9日(金)・8月21日(水)ホタルの楽校開催



真剣に聴いています！



虫眼鏡で観察！



今度は顕微鏡だ！



葉脈しおいづくいに挑戦！



「ホタルの楽校」でホタルについて、しっかりと学びました。大人も子供も意外な真実を知ることができました。顕微鏡での幼虫観察は、初めてで、おもしろかったよ。

10月17日(木)ホタルの幼虫の放流！



こんなに大きくなりました！



富海小3・4年生



幼虫を放流！



報道関係からの取材！

富海小3・4年生の児童16人でホタルの幼虫を放流しました。「大きくなってね」「元気でね」と言いながら子どもたちは丁寧に放流していました。